

当院において胸部 CT 検査を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「定量イメージング技術によるすりガラス肺がんの新規診断戦略の開発」 へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学学術研究院保健学域 放射線技術科学 生口 俊浩

1) 研究の背景および目的

胸部 CT で偶発的に発見されるすりガラス肺がんが増加しており、ときに炎症との鑑別に難渋しますがその適切な診断と管理が求められています。2022 年に臨床導入されたフォトンカウンティング CT は、従来の CT 装置とは異なる画像検出器を搭載しており、我々の独自技術により被写体の定量的な情報を付加した画像（「実効原子番号画像」と「実効密度画像」で定量イメージングとします）が作成できます。本研究では、従来の CT 診断では得られなかったすりガラス肺結節内部の定量的情報を解析し、より精密な診断基準の策定と肺がんに対する早期治療介入のための臨床指標の開発を目指すことを目的とします。

2) 研究対象者

2025 年 4 月～2025 年 12 月の間に岡山大学病院において、フォトンカウンティング CT で胸部 CT 検査を受けられた成人 30 名を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

情報の利用及び提供開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

2025 年 4 月～2025 年 12 月の間に岡山大学病院においてフォトンカウンティング CT で胸部 CT を撮影されすりガラス肺結節が指摘された成人患者さん 30 人を選択します。個人情報加工した上で、これら 30 人の CT 画像から岡山大学で「実効原子番号画像」を作成、金沢大学で「実効密度画像」を作成します。作成された定量イメージング（「実効原子番号画像」と「実効密度画像」）を岡山大学で日本医学放射線学会画像診断専門医 2 名が、評価可能なすりガラス陰影の定量イメージングが作成できたか、定量イメージングと胸部 CT 両方で、すりガラス陰影の内部性状を比較評価、各症例の臨床経過と定量イメージングを対比し診断精度向上の可能性を検討します。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・年齢、性別、組織診断名、身長、体重、CT 画像、臨床診断・経過（治療内容[手術、放射線治療、薬物療法、経過観察、その他]、手術されたのであれば病理診断名、研究期間中の経過[病変の変化、再発・転移の有無など]

6) 外部への情報の提供・共同利用の方法

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関にセキュリティの担保されたクラウドストレージにより提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

金沢大学 融合研究域融合科学系 林 裕晃

7) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学総合教育研究棟浅原研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

8) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

9) 研究資金と利益相反

この研究は、公益財団法人両備檉園記念財団 研究助成金の資金を用いて実施します。この研究に関して利害関係が想定される企業等で研究責任者や分担者あるいはその家族が活動して収入を得ているようなことはありません。また、私たちはこの研究によって特許を得る可能性はありません。

10) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方（ご家族の方等も拒否を申し出ることが出来る場合があります。詳細については下記の連絡先にお問い合わせください。）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。ただし、すでにデータが解析され、個人を特定できない場合は情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学学術研究院保健学域 放射線技術科学

氏名：生口 俊浩

電話：086-235-6873（平日：9時～17時）

<研究組織>

主管機関名 岡山大学病院

研究代表者 岡山大学学術研究院保健学域 放射線技術科学 生口 俊浩

共同研究機関

金沢大学 融合研究域融合科学系 林 裕晃